

プレゼンテーション作成検定試験 1級サンプル問題

<問題>

試験時間は30分とし、PR1-00 フォルダ内の各データを使用する。

<前提>

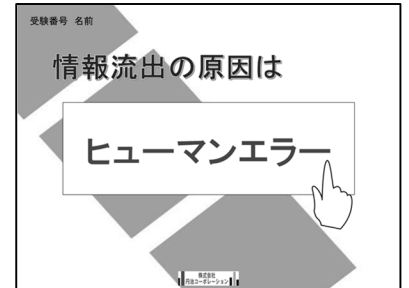
対象：会議出席者 目的：情報流出の原因となる「ヒューマンエラー」への注意喚起を行い、対策を考える。

<処理条件>

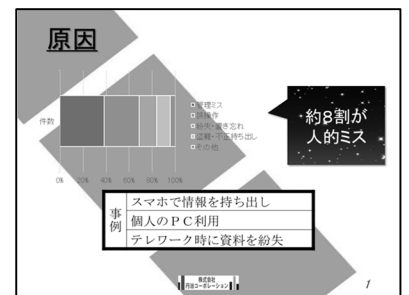
- A-1. 画像“1-1.png”（配置下部中央）・リンクの挿入（最初のスライド）
 A-2. スライド番号（24ポイント、斜体、茶色）（開始番号は0、1スライド目非表示、配置右下）
 A-3. 背景画像“back.png”・画面切り替え

<作成例>

- 1-1. 受験番号、名前を入力
 1-2. 文字入力（特殊文字）
 情報流出の原因は
 ヒューマンエラー
 1-3. 図形（塗りつぶし白色、配置中央）・図形内文字入力
 ヒューマンエラー（66ポイント、太字、中央揃え、紫色）
 1-4. 画像“1-2.png”（配置<処理条件>1-3. 図形に作成例のように重ねる）



- 2-1. スライド挿入・文字入力
 原因(48ポイント、下線、影付き)
 2-2. 原因ごとの件数割合を100%積み上げ横棒グラフで作成
 基データ：graph.csv 凡例：原因



- 【①開始・フェード:グラフ】
 2-3. 図形（塗りつぶし画像“1-3.png”、線なし、影付き、配置<処理条件>2-2. グラフの右側）・図形内文字入力（32ポイント、中央揃え、白色）

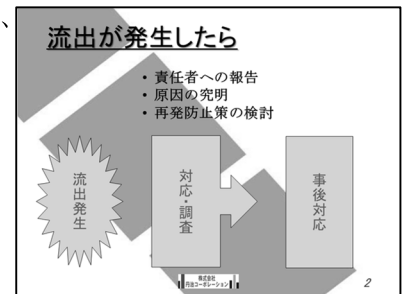
約8割が
人的ミス

【②開始・ズーム:図形】

- 2-4. 表（全セル塗りつぶし白色、線種は問題のとおり、配置中央）・表内文字入力（明朝、24ポイント）

事例	スマホで情報を持ち出し
(縦書き、中央揃え)	個人のPC利用
	テレワーク時に資料を紛失

【③開始・アピール:表】



- 3-1. スライド挿入・文字入力
 流出が発生したら(48ポイント、下線、影付き)
 3-2. 文字入力（明朝、28ポイント、太字、行頭揃え、箇条書き記号）（配置中央）

責任者への報告
 原因の究明
 再発防止策の検討

【①開始・スライドイン・左から:文字】

- 3-3. 図形（塗りつぶし薄い青色）・図形内文字入力（縦書き、28ポイント、中央揃え、青色）

流出発生

対応・調査

事後対応

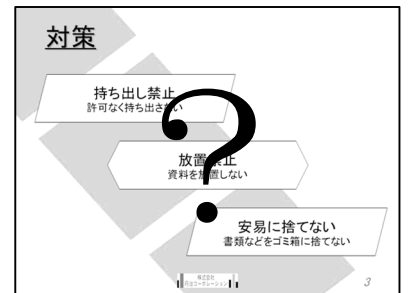
【②開始・フェード:図形】

【③開始・ズーム:図形】

【⑤開始・フェード:図形】

【③終了・フェード:図形】

【④終了・ズーム:図形】



- 4-1. スライド挿入・自由作成（下記条件を参照、アニメーションはグループの番号順に動作）

グループ	文字入力	見出し	条件
1	対策		48ポイント、下線、影付き
2	持ち出し禁止 許可なく持ち出さない	○	※改行位置：問わない ※見出しはグループ内で区別
3	放置禁止 資料を放置しない	○	(サイズ、フォント、太字、色など) ※配置：グループごと
4	安易に捨てない 書類などをゴミ箱に捨てない	○	※アニメーション設定：3種類以上 ※図形種類：2種類以上

- E-1. 上書き保存